

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	←
項目名 目		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0716.46	マナ (漁師と話し相好)	×
0779.03	ma ^{na} ko <今多>	me
0840.33	mana ^{ko} <希>	me
0894.61	ma ^{na} ku <子ども好>	
0896.22	又 <マナコと言わない>	
0990.97	me ⁷ <ほの若は一越中の人は一manako>	
1699.14	マナク <若い人は使わぬ>	
1761.74	マナク (子供のころ)	×
1762.10	マナコ <年寄>	×
1791.33	マナク <古少>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1848.24	ma ^h na ^h ko<もと><あやいたらほこう言った>	
1859.84	ma ^h na ^h ko<子どもや時>	
1862.48	× <カンというのをきいたことがある>	
2608.90	マナク <昔はマナクにいた>	
2619.28	子. マナク	
3723.21	managu [u] [o]にも近い	
3737.32	マナク <古>	×
3757.59	② x me とみとむ 文字の大きさ. 地域から	① マナク
4588.98	manako <下品>	me
4637.68	[nanako] (外に古い方はないか. に近し)	me

4637の左男が塔2. 被調査者も認めず

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目		B 除いた共通語 (3)
		C 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4638.22	ma ^h na ^h yo オハナシ ム寄リ	
4638.43	[manako]... <これを用いることが多い>	me
4647.87	マナコ (多く用いる)	
4648.59	me: <新上>	manaku
4657.64	manako <古>... <古く幼年時代用いた>	me
4657.88	me <子>	manago
4666.17	me <北方. 藤塚浜では manako といふ>	
4676.39	me <親の代には manago と言った>	
4677.65	manako... <これを使うことが多い>	
4685.88	manaku [稀]	me

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 日		(B 除いた共通語)	(4)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4687.01	manako 〈爺〉 (me ^h ja wari: と言)か? manako ja wari:, manako ja miendae とは 言わない) 〈manako は若い頃に使った〉	me
4687.37	manako ... 〈古くからの言い方である〉 (manakomono haetta [マナコモノ] は複合語らしい。目にのみか入った意) 等。固定した言い方の時多い)	me
4689.14	me 〈manago, managu などとは言わぬ〉	
4689.62	managu 〈古〉	me
4689.86	managü 〈古〉	me
4698.21	me 〈子供と殆ど使わぬ〉 managu 〈老人同志 殆ど使わぬ〉	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4699.42	managu 〈古〉	me
4713.45	managu 〈古〉	me
4722.55	managutt 〈古〉	
4724.75	managutt 〈古・稀〉	me
4741.43	manaku 〈古〉	
4742.43	managu 〈俗〉	
4744.10	* managu 〈古〉	me
4761.57	manaku 〈昔使った。今も使う〉	
4761.93	manaku 〈これと多〈使う〉〉	
4762.77	managutt 〈managutt が 3.7;〉	
4762.04	マ ₂ (me' とみとむ . Tok.)	マナク°

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目		(B 除いた共通語)	(6)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4762.90	manaku <古>	
4762.99	managu <古>	me
4763.11	manaku <古>	
4763.62	manag tt <古>	me
4771.92	manag tt <少>	me
4772.33	manaku <普通使う>	
4773.70	me <これ多く使う>	manaku
4780.64	manago <昔多用したか今は用いない>	me
4783.74	managu <managu の ぶらう>	
4790.74	manag tt <古>	me

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
034	110	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(7)
目			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4792. 43	manak <u>u</u> <音>	me
4793. 41	manaku <音>	
5506. 68	manako <F>	me
5517. 57	manako <FB>	me
5527. 61	manako <FB>	me'
5528. 31	manako <F>	me:
5537. 34	manako <F>	me:
5546. 34	manako <FB>	me
5546. 82	manako <FB>	me'
5548. 24	manako <F>	me

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5556.35	me' ... me' とみとえ manako <FB>	
5557.48	manako <古> <中> <F>	me:
5564.76	me (e は かいしに近し)	
5586.70	me me は だめ me' の (本人は me' でなく me と いふが me' なることも多い) ↑これを無視し me とす。	
5605.11	manako (音) ... <「Ano gito no manako wa kitsue zo」 「あといと使え。月さ かきつい意で」 「metsuki ga kitsue」といふこと多いか 上のほうにも 使え > えう。	me

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名		(B 除いた共通語)	
目 034		(C 除いた特殊語)	(9)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5605.70	manaku <希> - (「manaku ga warukku naruy me (目が病気に係る意)等と用いる。 (目以外の場合はありませぬか」に反対) 反意)	
5608.16	manaku <普通 氷を使う>	
5611.81	me. (me. e. は長音にか短い。半長音)	
5612.22	me. { me. 半長音 me	
5613.80	<[manago] 老人が使っていたことある>	me
5615.65	me. manako <me. manako 河津古<お> 用いた。>	
5615.28	manaku <古>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
引目名		(C 除いた特殊語)	(10)
目 034			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5615.78	manaku 〈希〉	
5617.28	manako 〈普通:水石使〉 me 〈水石使〉	
5624.85	mana ^o ko) 区別不明 me	
5625.32	× 〈大字土樽でハ マツとえう〉	
5625.91	me 富沢弥一郎氏〔manaku〕〔希〕	
5628.70	マク … 〈3<使〉	*
5635.48	マク 〈古〉	
5636.49	マク 〈古〉	×
5636.74	マク 〈古〉	×

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(11)
目 094			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5642.31	[manako]	me
5644.24	me <隣村では マナコ という名に...>	
5644.74	マナコ <稀. 古>	
5645.27	マナク <古>	×
5645.43	マナコ <古>	×
5645.89	マナコ <古>	×
5646.12	マナコ <古>	×
5646.39	マナク <古>	×
5647.56	マナコ <古>	×
5648.13	manak <u>u</u> <古>	me

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	/10	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(12)
目 034			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5649.65	マナク <古> 墨	×
5654.94	マナコ <古>	×
5654.99	マナク <古.ヶ>	
5655.41	マナク <古>	ノ
5655.57	マナコ <古>	
5655.97	マナコ <少.古>	×
5657.06	マナク <古>	
5657.53	マナコ <古>	×
5657.78	マ <多>	マナコ
5664.58	マナク <古>	×

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目 054		(B 除いた共通語)	(13)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5664.58	マナク 〈古〉	×
5665.46	マナク 〈古〉	×
5665.89	マナク 〈古〉	×
5666.18	マナコ 〈古〉	
5666.22	マナコ 〈古〉	×
5667.24	マナコ 〈古〉	×
5667.81	マナコ 〈コナマナコ〉 〈20ヌキテカラ ヲカウ〉	×
5669.12	manako 〈古〉	me
5669.96	managui 〈古〉	me
5670.47	me manako 〈全く同じ意味・発音に表わす me い3〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目 054		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5671.36	manako <夏口を云うとき、manakoをあげてよく見ると。>	
5674.06	マナク<古>	×
5675.36	マナコ<多>	
5676.28	ma'na'ko (<「マナコ」と「ウ」>と文法形 標準語の me 知らぬ.)	
5676.52	マナコ (ある人マナコは氣に食わぬ という例とありたが、話しとは「と」しては「と」か 本人は使はると「マナコ」疑問)	
5679.31	manakui <ごく稀>	me

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(15)
目 054			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5679.86	manakui (年上)	me
5686.15	me <多>	ma'na'ko
5686.31	ma'na'ku <古>	me
5688.01	xɪ me' とみとみ	
5689.43	me <若い人にだけ> manako <同年輩の人にだけ> (誘導)	
5696.54	ma'na'ku <古>	me
5698.69	ma qi'tomi (指差は /hi/ と意識 /si/ z'は ts<)	
5698.91	me <普通>	ma'na'ko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(16)
目 054			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5700.28	managum <エ>	me
5703.03	manakum <普通=me使>	
5710.84	マナコ <古>	
5711.85	manako <古>	me
5712.17	manakum <若いとき使>	me
5712.70	me 國島氏の回答 [me<新>] [manakum]	
5714.10	manakum <古>	
5723.36	managum <古>	me
5730.71	x... <多く使われ>	マナコ
5741.25	me 個別に調査した被調査者には、Tanoの普通語の 人に対しては managum という。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (17)
	110		
項目名			
目 034			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5760.24	ma ⁿ agui <古い人の使う>	me
5780.11	managui <古>	me
5781.65	ma ⁿ agui <古い>	me
5791.07	managui <多>	me
5792.18	ma ⁿ agui <現在 80才以上の年寄りの使う>	me
5793.20	ma ⁿ ako <年寄りの使う>	me
6420.34	マコ <希> <特別な時に使う>	×
6447.39	me [ただし 自然会話中: te:(手)は去死]	
6447.84	メ me とは同	
6458.08	同上	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 日		(B 除いた共通語)	(18)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6484.78	\times_{E} 一音の半倍はよく初母韻を長くひいて発音する。 $\overline{\text{フエ}}$ ハアア (葉音) \times_{E} (母音) 行イ(木) (子)	
6485.14	\times_{E} 分布から me° とみとむ。 \times_{E} ではなく \times_{E} と書いているとみとむ。	
6485.82	\times_{E} me° とみとむ。	
6486.07	\times_{E} me° とみとむ。 \times_{E} のエは母音を少しのばした音であった。一音半ぐいひの長さ。 \times_{E} とでも書けるが、 下付コ マナコは悪い意味で、アハノマナコハノー。といった場合を使う。	
6486.50	\times_{E} me° とみとむ	
6487.43	同上	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は敢書にする。

頁 目 番 号	地 図 番 号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
目 次	034	(C 除いた特殊語)	(19)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6487.66	X _I me ^o とみとむ。	
6494.55	同上	
6504.99	me ^o ・は i に通じ。	
6510.65	X _I X _I の如く長音に発音することは余り多くない。X _I 半長とみとむ。	
6511.33	X _I 長音化余り著しくない。me ^o とみとむ。	X
6532.30	X _I 〈やせ多〉	X
6532.70	X _I この地方は、一音節長音化 かなり盛な地方である。特に、この語の前半上昇調 accent のため、致しの場合長音化が形である。me ^o とみとむ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名		(B 除いた共通語)	(20)
目 034		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6532.89	メエ この語の長音化はかなり著しい。me:とみとむ	
6542.32	メエ 上昇型アクセントあり。長音化多し。me:とす	
6542.71	メー (随地調査で南きおとした。手紙で回答を得た。トクワ)	
6546.15	メエ 今年の me:とみとむ。メエでなく、メエと書いてあるとみとむ。	
6552.90	me: (「メエ」)	
6553.47	me: (「メ二」 というアクセントあり)	
6553.99	me: (「メエ」)	
6564.51	me: (アクセントは「メ二」である)	
6571.15	メエ (たぶん meに聞き発音あり) → me:とみとむ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目 034		(B 除いた共通語)	(2/)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6572.29	me: (アセント「メ $\bar{\text{I}}$ 」)	
6573.71	me: (「メ $\bar{\text{I}}$ 」と... アセント)	
6574.52	me: (「メ $\bar{\text{I}}$ 」)	
6575.17	メ $\bar{\text{I}}$ me: と $\bar{\text{I}}$ と $\bar{\text{I}}$	
6580.33	メ $\bar{\text{I}}$ (1音節半の長音である) → me: と $\bar{\text{I}}$ と $\bar{\text{I}}$	
6583.19	me: (アセントは「メ $\bar{\text{I}}$ 」である)	
6583.41	me: (1音節で「ゲリス」の「ス」は [su] である すに「目」には $\bar{\text{I}}$ と [me:] と $\bar{\text{I}}$ と。しかし [me $\bar{\text{I}}$] ではない。)	
6584.90	me 川口 釜 $\bar{\text{I}}$ と $\bar{\text{I}}$ と $\bar{\text{I}}$	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目 034		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (22)

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6585.25	ɸɪ me・とみとむ	
6592.35	me: (prest 「ɸ」)	
6594.67	ɸɪ me・とみとむ	
6595.32	同上	
6603.52	mana'ku 〈音〉 me: 〈新〉	
6668.46	× 〈略語は×17492〉	
6625.17	m̄ana'ko 上	m̄e
6627.12	me' mana'ko <[mana'ko] は音・形, [~ya kuranderu.] >	
6628.64	me' <2.11 (mana'ko)>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(23)
目 034			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6641.39	$\bar{m}e$ <自分は今わが家のなつ? 親は $\bar{m}anako$ とした>	
6697.49	$manako$ <下>	me
6697.59	$manako$ <古>	me
6698.20	同上	me
6698.61	$menako$ <古>	me
7259.22	me <近ごろ $me:$ と引く人もある>	
7332.97	$m\bar{m}e$ (ソメの様に発音した) $m:e$ である。	
7338.48	me (半長音である。ソメ部分か下である。)	
7351.09	$me^{\textcircled{1}}$ ソメの符号とよびと	
7352.14	$\bar{m}e$ me とよびと	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(24)
目 054			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7362.67	ㄨㄣ̄ me・とみとむ	
7363.59	同上	
7372.03	同上	
7372.27	同上	×
7373.99	同上	
7374.15	ㄨㄣ̄ [me・]	×
7377.27	me ⁷ me = me とみとむ	
7381.38	ㄨㄣ̄ [me・]	
7382.58	ㄨㄣ̄ me・とみとむ	
7382.93	同上	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語
	110	
項目名		(25)
目 034		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7383.98	メエ [me ^o] × ミエエ [mje ^o]	
7390.75	メエ [me ^o]	
7391.01	メエ me ^o とみとむ	
7391.94	同上	
7392.45	同上	
7392.94	同上	
7393.62	メエ [me ^o]	
7394.60	メエ me ^o とみとむ	
7404.12	mei (眼珠は <mekatama> 瞳は <hitomi> (という。と 補送した。) 被調査者自身から これほど指しなから)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目 034		(B 除いた共通語)	(26)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7406.53	ma ^h na ^h ko <昔>	me:
7460.39	me me: にあらず	
7461.77	me ^(*) (併用とみ)	
7504.11	me ^o (me と me: の中間<3い)	
7513.69	ㄨ ^h me ^o と みとむ (1音節半の長でみ)	
7522.94	ㄨ ^h me ^o と みとむ	
8300.11	ㄨ ^h me ^o } とみとむ ㄨ ^h me:	
8301.76	x (ㄨ ^h とは云わぬ)	
8302.19	ㄨ ^h [mē ^o]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	110	(B 除いた共通語)
引目名		(C 除いた特殊語) (27)
目 034		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8302.91	ㄨ me' とみとむ	
8303.70	ㄨ [me'] x	
8303.84	ㄨ me' とみとむ	
2074.69	mintʃi 眉は 20地真 maju 故に まじかいてない。	
2076.99	miŋ 次項の ㄨ ではないから 混入とは見えない。 ㄨ にあたるものとは見えない。	
2095.60	min 次項 ㄨ 中の 混入とは見えない。ㄨ にあたる ものとみとむ。 ㄨ にあたるものではない。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0894.61	me <今>	ma'na'ku <子どもの時>
1699.14	英 x	マナク <若い人は便わぬ>
1731.89	x <上品に 去り時>	マナク
1791.33	x <新・多>	マナク <古少>
1848.24	me <近ごろ> <上品になってきたからぬ>	ma'na'ko <上> <あやしい方はこう言った>
1859.84	me <今はこれが多い>	ma'na'ko <子どもの時>
2608.90	x <今はxを多く使う>	マナク <昔はマナクだけ>
2649.79	x <新>	マナク
2712.33	英 x	マナク
2713.83	<英> x	マナク

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2734.05	× <いゝコトバ>	マナク
2741.46	× <新>	マナク
3757.32	× (新)	マナク
3757.87	× <新>	マナク
3775.11	× (新)	マナク
3785.68	× (学校で教えられた)	マナク
3793.37	× (稀)	マナク
3795.33	× <ヒイ>	マナク
4619.63	me <英>	managu
4647.87	× <希>	マナク (多く用いる)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4648.04	me<英>...<よその人に対して用いる>	manako
4648.42	me<希>	mana ^{ko}
4659.85	me<英>	managu
4677.65	me<新>	manako<こね使うことか多い>
4679.65	me<英>	managu
4698.15	mana me<希>	managu
4711.41	[mè] <上>	[managu]
4714.68	me...<新>	* manaku
4715.98	me<稀><新>	managu
4716.72	me (Kat.の判断にF3)	* managu ⁷

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目		(B 除いた共通語)	(4)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4722.55	me <上>	manag tt <古>
4732.18	me <新>	manag u
4734.20	me [稀]	[manag u]
4734.56	me ... <学校へ行っていう子供の影響で自分も使ふようになった>	manag tt
4736.63	me <新>	manak u
4741.43	me <新>	manak u <古>
4742.43	me <稀>	manag u <俗>
4743.61	me 新 (新)	manag u
4761.57	me <今はほとんど使>	manak u <昔使った. 今も使>
4761.93	me (kat. の判断)	manak u <今は使>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4762.77	me (Kat. 9 判断に 53)	managot < managot ^{カ?} 3.77 >
4762.90	me < 今 >	manaku < 今 >
4763.11	me [新]	manaku < 古 >
4770.62	me < 希 >	managu
4773.15	me (Kat. 9 判断に 53)	*managu
4773.27	me (同上)	managu
4773.70	me < これを多く使う >	manaku
4773.78	me < 新 >	managu
4783.74	me (Kat. 9 判断に 53)	managu < managu ^{カ?} 3.77 >
4793.41	me < 新 >	manaku < 古 >

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	(6)
項目名		[C 除いた特殊語]	
目 034			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5608.16	me (Kat.の判断による)	manaku <普通にこれを使う>
5615.28	me <新>	manaku <古>
5615.78	me <新> — <これは多く用いる>	manaku <希>
5626.99	x <新>	マナク
5628.70	x (Kat.の判断による)	マナク... <多く使う>
5635.48	x <新>	マナク <古>
5644.74	x <共>	マナク <稀.古>
5646.71	x <新>	マナク
5654.98	x <新.多>	マナク <古.少>
5655.57	x <今>	マナク <古>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 110	A 普通注記	ページ
項目名 目 034		(B 除いた共通語)	(7)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5657.06	メ<新>	マナク<古>
5666.18	メ<新>	マナコ<古>
5685.02	「me<英>	mana ² ku
5703.03	me<これも使>	mana ku<普通=これも使>
5710.84	メ<新>	マナコ<古>
5714.10	me<新>	manaku<古>
5723.02	me<これも使>	manaku
5723.60	me<現>	managu
6439.01	メ<英>	メ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0724.58	menayudama medama	me
0737.94	<よほど年をとった人は manako とい>	me
0789.95	<親は manako といった>	me
2617.68	メナマ	メナク
2619.28	メナマ	子・メナク
4694.26	meme <子>	me
4716.20	manako <補> <学問的> (書物の影響か)	managut
4744.10	manako	me *managu <古>
4744.32	manako	*manaku
4781.86	manago <managoはきこえる程まで; 使ったことは ない>	me

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 034	地図番号 110	A 普通注記 ページ
項目名 目		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5536.99	ガン <カンガ アカ ^ハ ットル> (病人などで目の 変わったようになっていること)	メエ
5557.48	gan <新><希>	me: manako<古><エ>
5615.65	manakudama 用例 okkanageno manaku- dama da <「まなこ」は目王. さま のみならず、目全(命)をさす>	me manako <me, manako 何れ古 から用いた。> 用例 jasaji: me. ano gito no manako wa okkanage da.
5636.74	マナコタマ <古> タマ <新>	× マナコ <古>
5664.58	マナコタマ <希> <ホモガヨオスル マナコ ヒヨクカエスノ ト ヨウコトカイル>	× マナコ <古>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	110	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3)
054			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5665.11	メマ	メ
5675.36	メマ	マコ<多>
5679.86	medama	me manakü(毎より)
5696.68	manako<昔+老人が 使ったと聞いたことかある>	me
5701.25	managu<使ったことはいない。左のことはい>	me
5741.66	gav<爺>... (ほかの言い方はないかと聞いた時に答えたが、 ではあるまいか)	me
5752.94	gav<正しいことはい>	me
5771.42	meme<幼母>	me
6448.23	メメ<子>	メエ マコ
6515.24	meme(子)	me:

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
項目名		(B 除いた共通語)	
目 054		(C 除いた特殊語)	(5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7382.97	カン	×
7431.08	[me:] (同席した中学校の教師が [me: と言わん てオの] といった。母音部の長いことと 十分には識別しないようであった。地域 では長く言っている。—中学校教師談)	me
7513.69	メ<子>	メ me' とみとむ (1音節の音である)
7522.94	メ me' とみとむ	
7659.31	mettjou <昇. 4ノエリとき>	manako